

福岡みらい病院で 人工股関節全置換術を受けられた患者様へ

当院リハビリテーション科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。この研究は当院の倫理審査委員会の審査を経て、院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	人工股関節全置換術後の爪切り動作獲得に必要な関節可動域の検討
当院の研究責任者（所属）	吉居 啓幸（整形外科） 閑地 瑞季（リハビリテーション科）
本研究の目的	<p>当院では人工股関節置換術を受けられる患者様に、「日本整形外科学会股関節疾患評価質問票（JHEQ）」を聴取しています。JHEQは痛み、動作、メンタルの3つの下位尺度から構成されている質問紙票です。</p> <p>本研究では、片側の人工股関節全置換術を受けた後、3か月が経過した患者様を対象に、JHEQを用いて、「爪切り動作の困難さ」に関して、どの程度の方が動作を困難と感じているかを調査するとともに、爪切り動作獲得に強く関連する関節運動を明らかにすることを目的としています。</p>
調査データ該当期間	西暦 2020年2月1日～西暦 2024年11月30日
研究方法	<p>●調査の対象となる患者様</p> <p>2020年から2024年に当院で施行した片側人工股関節全置換術患者</p> <p><電子カルテに記載のある診療情報></p> <p>当院で人工股関節全置換術を受けた患者様の診療記録をもとに、術前および術後のJHEQの結果、身体機能（関節可動域）、年齢、性別、手術名などの情報を匿名化し、後方視的に解析します。</p>
個人情報の取り扱い	対象者のプライバシーおよび個人情報の秘密を守るため、使用するデータは全て匿名化し、個人を特定できないよう配慮しています。使用するデータは、研究責任者のもとリハビリテーション科内で厳重に管理します。保管期間は研究終了後5年間とし、破棄する際はデータを復元不可能な状態に処理して破棄します。
本研究の資金源（利益相反）	本研究実施にあたり利益相反はありません。 研究参加にあたり謝礼も発生しません。
お問い合わせ先	福岡みらい病院 整形外科・リハビリテーション科 電話：092-662-3001（代表） 研究責任者：吉居 啓幸・閑地 瑞季